

講義名	日本語総合B（1年生のみ）			授業形態	
担当教員	新井 佳子	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 4時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

**主題と概要**

大学や普段の生活の中で必要な基礎的かつ総合的な読解力をつけることを目的とする。  
授業では、さまざまなスタイルの文章を読んで内容を理解するだけでなく、読んだ内容をもとに自分自身の意見を論理的に話す・書く力を伸ばすための練習も行う。

**到達目標**

- ・大学の講義や日常生活のあらゆる場面において必要となる読解能力を高めることができる。
- ・日本語で読んだ内容について考え、論理的な意見を発信できるようになる。
- ・さまざまなトピックの文章を読むことで、新しい視点、論点を見出せるようになる。

**提出課題**

課題（ワークシート、作文など）については授業中に指示する。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法**

課題は添削し、各学生にフィードバックする。また、間違いが多かった問題に関しては、再度解説を行う。

**評価の基準**

授業への参加度（20%）、授業中に与える課題（40%）、中間試験（20%）、期末試験（20%）

**履修にあたっての注意・助言他**

- ・出欠は毎回とる。毎授業開始時に出席をとり、かつ課題などを提出することで出席とする。
- ・全授業回数の1/3以上欠席した場合は、試験を受けることができない。
- ・1/5分以上の遅刻は欠席となる。
- ・遅刻3回で1回欠席とする。

**教科書**

.使用しない。

**参考図書**

.なし。

**その他**

授業中にプリントや資料を配布する。参考文献・WEBサイトは必要に応じて授業で紹介する。

**授業計画**

- 第1回 オリエンテーション（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）など
- 第2回 お知らせや通知文などを読む
- 第3回 新聞の投資、体験談を読む
- 第4回 インタビュー記事を読む
- 第5回 説明文を読む
- 第6回 論説文を読む
- 第7回 人物紹介文を読む
- 第8回 中間試験
- 第9回 小説、小説のレビューを読む
- 第10回 新聞記事などを読む
- 第11回 調査報告や調査結果の分析文などを読む
- 第12回 説明文を読む
- 第13回 ビジネス書を読む
- 第14回 人物紹介文を読む
- 第15回 期末試験

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

<input type="radio"/> A：PBL（課題解決型学習）	<input type="checkbox"/> I：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> W：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> E：グループワーク
<input type="radio"/> O：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> C：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> K：その他（A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習：事前に配布する資料について、分からない語句の読み方や意味を調べる（各授業2時間程度）  
復習：授業で扱った読解や表現を確認し、文作成練習などを行う。また、読み物の内容について自分の意見や感想を書く。（各授業2時間程度）

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

日本語能力を向上させることで、自ら必要な情報を収集し、そこから得た知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材を育成する。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

**備考**